生活支援コーディネーター通信　No.1

～つながろう　支え合おう　福祉のまちづくり～

編集／渋川市社会福祉協議会（☎25－0500）　発行／2024.3.1

北橋地区　幸せをつなぐ黄色いベンチプロジェクト

たちばな支援の会ではこの取り組みを令和５年９月から始めました。前橋市桂萱地区で始まった活動について知る機会があり、「ベンチを設置することによって高齢者を見守る」「それが地域住民同士の交流場所にもなる」という発想に大変感銘を受けたことがきっかけです。

この活動は協議体構成員だけで完結させず、北橋地区の皆さんにもご協力いただきながら進めています。

桂萱地区の担当者を協議体会議に招待！詳細を教えてもらう

協議体会長がベンチを試作。会議にて「たちばな古里まつり」への参加を決めた！

「たちばな古里まつり」に試作のベンチを設置し、協議体の活動周知

北橋中学校の美術部生徒の協力を得て、ベンチの塗装・デザイン！

愛宕山ふるさと公園へのベンチ設置完了！

見守りが出来るで賞

続々製作中！
２月に５基追加

今後も学校との連携を継続し、地区内企業・店舗からも協賛をいただきながらさらに設置台数を増やしていきます！

たちばな支援の会では「若い人達にも福祉やボランティア活動について関心を持ってもらい、将来は担い手になってもらいたい」との思いから、学校への協力を計画しました。まず、北橋中学校の協力を得ることができ、協議体構成員が製作、美術部生徒が塗装・描画したベンチ４基が完成しました。

この４基は令和５年１２月１２日、北橋地区の愛宕山ふるさと公園へ設置することができ、協議体構成員はもちろん、製作にご協力いただいた中学生にも記念すべき日となりました。「自分が携わったことが地域の役に立っている」と実感できたことは、中学生にとって大きな経験だったのではないでしょうか。